



公益財団法人 星総合病院

けんこう

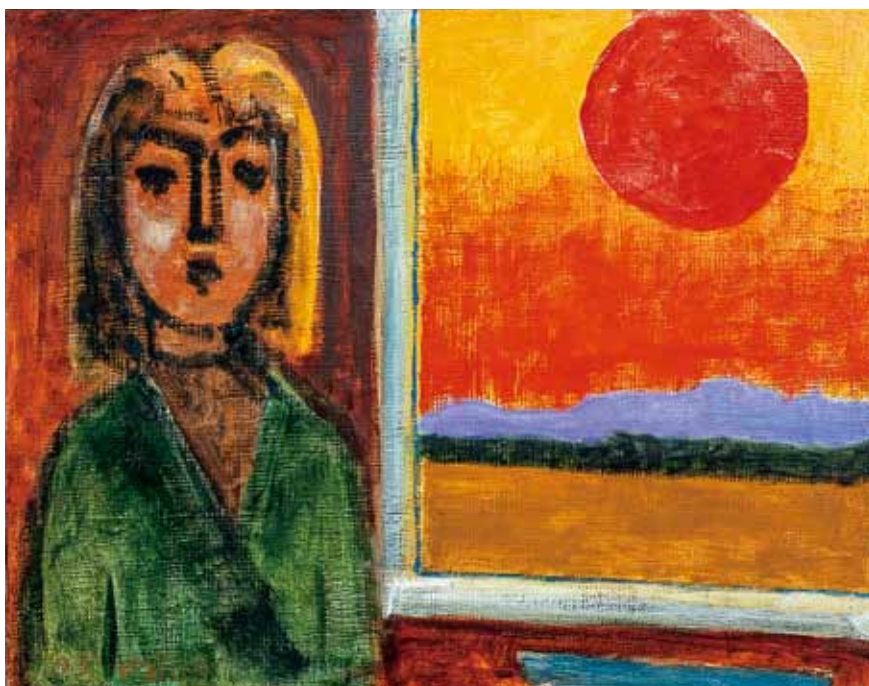
懸虹

平成29年11月 No.293

特集

産婦人科領域 におけるIVR について

- お祭り、イベントの開催・参加
- 三春病院医療機器
リニューアル報告
- 三春町敬老園のご紹介
- トピックス
- 連携医のご紹介



車窓から (F30、2003)

星 一雄

醫

霊

幼児期に運動習慣をつけることは、学童期の体力向上に良い影響を与え、青壮年期の生活習慣病リスクの低下になると考えられています。健康的な身体育成は、社会適応力や認知的能力の発達にも有効と言われます。当法人の保育所施設では、平成29年から運動教室を開催し、健康運動指導士や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が講師となり、園児に、身体を動かすことの楽しさや上達することの喜びなどを全身で感じてもらう、生涯にわたって運動を継続する基盤づくりを目指しています。またスポーツ外来では整形外科医や理学療法士が学童期のスポーツ活動における障害予防に取り組んでいます。運動を通して、ケガをしない体づくりをしながら、スポーツをいつまでも長く楽しく続けられるように私達医療スタッフがサポートし、将来的な健康寿命の延伸に寄与できるよう努めて参ります。

リハビリテーション科

技師長 二瓶 健司

＜醫霊＞霊をも醫(癒)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念

産婦人科領域における

IVRについて



星総合病院
産婦人科部長

加藤 克彦

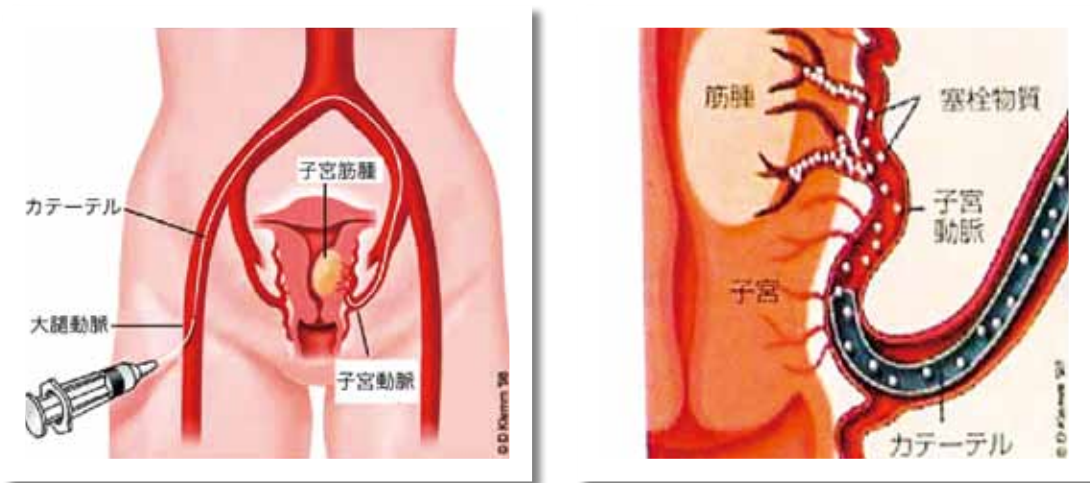
はじめに

IVR（Interventional Radiology）は、1967年にMargulisが最初に提唱したものであり、わが国で適当な訳がなく、無理に日本語訳せずに、そのまま使用しています。日本インターベンショナルラジオロジー（IVR）学会が、IVRとこれに関連する分野の学術並びに技術の発展を図るとともに、国内外の研究と連携し、また国民への啓蒙活動等を行っています。放射線診断学のために開発された血管カテーテル術や各種の診断技術を用いて治療面での応用がなされ、血管腔を介して病変部に到達し治療する血管性IVRと、経皮的に直接病変部を穿刺して到達する非血管性IVRがあります。産婦人科領域では、子宮筋腫に対して子宮動脈塞栓術（UAE:uterine artery embolization）を、産科危機的出血の治療に対して血管塞栓術や血管内バルーン閉塞術を施行しています。

子宮筋腫に対する対応

子宮筋腫は子宮筋層内に限局的に生じる女性ホルモン依存性の良性平滑筋腫で、月経がある度に筋腫が大きくなり、閉経後に小さくなります。組織学的に変性が起きて大きくなることもあります。漿膜下筋腫（子宮の外側）、筋層内筋腫（子宮の筋肉の中）、粘膜下筋腫（子宮の内側）があり、大きさやできた場所によって異なった症状が出ます。筋腫があっても半数の方はその存在に気付かず、特に漿膜下筋腫や小さな筋層内筋腫では症状がないケースが多いです。出現する症状には、月経過多・貧血、月経痛、周囲臓器への圧排症状、不妊・不育症等があります。治療として、開腹・腹腔鏡下の筋腫核出術や子宮全摘術、UAE、MRIガイド下集束超音波療法、子宮鏡下子宮内膜焼灼術やマイクロ波子宮内膜アブレーション、薬物療法等が挙げられます。症状や妊孕性温存希望の有無、手術可能か、閉経が近いかな等により、治療法が選択されます。

1994年にRavinaらが初めてUAEを行い、2008年に米国産婦人科学会が子宮温存を希望する女性にとってUAEは安全・有効で子宮全摘術の代替治療であるとLevel Aの十分な科学的根拠



に基づいた勧告を公表しています。X線血管撮影室で、図のように大腿動脈からカテーテルを挿入し先端を両側子宮動脈内に進め、それぞれに塞栓物質を流入し子宮筋腫の栄養血管の血流を阻害することで筋腫を小さくし、症状を軽減させます。欠点は、悪性である肉腫（低頻度）の否定ができないため、施行後もしばらく外来でフォローが必要となることです。

産科危機的出血に対する対応

「産科危機的出血への対応指針 2017」では、バイタルサインの異常（頻脈、低血圧、乏尿）、特にショックインデックス（SI：shock index＝心拍数/収縮期血圧）に留意し管理し、妊婦のSI：1.5（約2.5Lの出血量が推測される）以上、産科DICスコアが8点以上（単独でフィブリノゲン；150mg/dL以下）となれば、直ちに輸血（赤血球製剤とFFPを1：1に近い比率で投与）などを開始します。これらの治療でも出血が持続するようであれば、抗DIC製剤、血小板濃厚液、フィブリノゲン濃縮製剤（保険適用なし）などの投与も考慮し、止血のために子宮圧迫縫合、子宮動脈・内腸骨動脈塞栓術や総腸骨動脈・腹部大動脈血管内バルーン閉塞術等のIVR、子宮腔上部摘出術・子宮全摘術などを試みます。安全、確実なIVRによる止血のためには、DICになる前にIVRを施行すべきです。また、大量出血で輸血が追いつかない場合や心停止が差し迫っている場合に、大動脈血管閉塞用バルーンカテーテルを挿入し大動脈を一時的に閉塞して止血し、全身状態改善後に出血部位の止血を行うこともあります。

最後に

近年、産婦人科領域のIVRが保険適用となりました。当院ではまだ産婦人科領域のIVRを導入していませんが、子宮筋腫で症状はあるが子宮温存を希望される患者さんも多く、また、産科危機的出血時の対応の選択肢の一つとして、早く導入できるようすすめたいと思っています。

子宮筋腫でUAEを選択枝として考える際には、ぜひ当院産婦人科外来にご相談ください。

お祭り、イベントの 開催・参加

当財団では、毎年各施設でお祭りなどのイベントを開催、患者さんやご家族、地域の皆様と交流を深めています。

また、地域のお祭りにも積極的に参加しています。



敬老園夏祭り(8月26日)
オリオン祭り(9月9日)
星ヶ丘フェスタ(10月1日)
三春フェスタ(10月7日)



北極祭 一般公開(9月16日)



星ヶ丘保育園夏祭り(7月29日)
三春町第1保育所夏祭り(8月5日)
ほしのご保育園夏祭り(8月11日)



さくら湖マラソン(6月11日)
うねめ祭り(8月4日)
三春盆踊り(8月15日)
安積國造秋季例大祭(9月29日)
三春秋まつり(11月4日)



ボランティアさんを募集中です

お問い合わせ：地域連携課 ^{しいな} 椎名

施設の行事やイベント、日々の外来ご案内など空いている時間、特技などを活かしたボランティアを随時募集しています。現在、認知症カフェや外来のご案内など様々な場面で活躍いただいています。

星総合病院



農業ボランティア
畑の作業や収穫物の袋づめ作業など

星ヶ丘病院



ボランティアコンサート
ボランティアコンサートへの出演

オリオン



イベントボランティア
様々なイベントでのお手伝いや特技の披露など

敬老園



クラブ活動ボランティア
様々なクラブ活動の指導など

医療機器が新しくなりました

より質の高い医療提供を続けて行くため、町立三春病院では今春から様々な医療機器を新しくしています。今後も地域の皆様の要望に応え、医療・看護の充実を図るために一層の努力をして参ります。

★ 眼 科 ★

LED スリットランプ



眼を拡大して両眼で立体的に詳しく観察することができます。
光を当てて検査することで、コンタクトレンズなど生活の中で
ついてしまった眼の表面の傷や白内障と呼ばれる水晶体の濁り、
網膜や視神経の状態も観察できます。

自動視野計（ハンフリー）



どのくらい視野(見える範囲や見える明るさ)があるのか定期的に検査することによって病気の進行がどの程度、抑えられているのかを診断します。
検査時間が短く、従来よりも細かく検査ができます。音が小さく静かなため、検査を受ける患者さんの負担が軽減されました。

オートレフケラト／トノ／パキメータ



1. オートレフケラトメーター：遠視・近視・乱視の程度、角膜のカーブの測定や円錐角膜などの進行を検査します。
2. ノンコンタクトトノメーター：その人に合った強さの風を自動調整し、眼に当てることで眼圧(目の硬さ)を測定します。
3. ノンコンタクトパキメーター：自動で角膜厚を測定し角膜厚を考慮した眼圧を計算します。

この3つの検査がこの1台で測定でき、患者さんの負担が軽減されました。

手持ち眼圧計



眼圧(目の硬さ)を測定する器械です。細い棒(プローブ)を直接眼に当てて測定します。痛みもなくあっという間に検査が終わるので、小さなお子さんや車いすの方、ベッドに寝たきりの方など、さまざまな患者さんに対応できます。

新しくなった医療機器等の情報はまた次号ご紹介いたします。

養護老人ホーム 三春町 敬老園

養護老人
ホームとは？

65歳以上で環境的・経済的理由により、
在宅生活が困難な方の入所福祉施設
生活の支援・見守りを行う

平成21年に三春町より指定を受け、公益財団法人星総合病院が
運営している官民共同の福祉サービス施設です。現在80名の方が
入園し、元気に生活を楽しんでいます。

生活支援
(生涯支援)
のために

入所する方々ひとりひとりそれぞれの生活の質(QOL)を上げるためには

- 身体的機能
- 精神・心理面
- 社会環境

の向上や安定が大切です。

職員が入園者と相談しながらそれぞれの生活について計画を立て、実行し
ていきます。

いきいき
とした
生活を
送るために

- 地域との交流
 - 当法人施設との交流
 - 地域貢献
 - 自主的な活動
- などに力を入れています。

QOLとは？

Quality Of Lifeの略
物理的豊かさだけでなく精神面
を含めた生活全体の豊かさとして
自己実現を重視する考え方

三春町芸能さくらまつり



三春町の芸能大会に参加。
お揃いのハッピーで踊りを
披露しています。

交流のある施設や学生さん、
お世話になっている方々を
ご招待し、盆踊りなどを楽し
みます。

敬老園夏祭り



中妻小学校との交流会



一緒に工作を楽しんだり、歌を
披露していただいたり定期的な
交流会を続けています。

農作業



敷地付近に畑をつくり、地域の
保育所や施設の方々と毎年交流
しています。

個人の声にも耳を傾け、
その時々でこんな
案内も♪



キラキラ☆ふれあい広場



毎月第3土曜日にどなたでも
ご参加いただける参加費無料
の健康講座を開催しています。

敬老園では、安心して生活できる場所を、入園者のみなさんと一緒に作っていきたくと考えています。
これからも、明るく元気に生活を楽しんでいくことを目指します。

慢性疼痛診療体制構築モデル事業 採択

9月19日
福島民報新聞に
掲載されました

慢性的な痛みの要因の多面的評価と新たな治療の開発を目的に、平成27年4月に当法人の寄附により福島県立医科大学医学部疼痛医学講座（寄附講座）が開設され、星総合病院に「慢性疼痛センター」が設置されました。運動器の慢性的な疼痛に対し、整形外科医師、ペインクリニック（精神科）医師、看護師、理学療法士、臨床心理士、薬剤師、管理栄養士の7職種がチームとなり、学際的・集学的に痛みの治療を行っています。今回、厚生労働省から診療モデルを実践する全国3ヶ所の中の1つに選ばれました。

※慢性疼痛プログラムに関しては、整形外科にご相談下さい。



慢性疼痛センター多職種チーム

若年性認知症相談窓口開設

9月1日
福島民友新聞に
掲載されました

福島県の依頼を受けて9月1日、星総合病院に「若年性認知症相談窓口」が開設されました。若年性認知症の方一人一人の状態に応じた適切な支援に繋げることを目的として、若年性認知症支援コーディネーター（認知症看護認定看護師）が相談をお受けし、支援体制との調整を担います。

電話番号：024-983-8406（直通）

担当者：若年性認知症支援コーディネーター
（認知症看護認定看護師）

相談日：月曜日～土曜日 午前9時～午後5時
（木曜午後、第3木曜日全日、日曜日、祝日、年始年末を除く）



看護職員相互派遣研修協定締結式

NHK福島放送局で放映され、
朝日新聞、福島民友新聞、
福島民報新聞に
掲載されました

福島県総合療育センターと星総合病院の看護職員について相互派遣研修実施が決まり、9月26日協定締結式が行われました。民間医療機関との相互派遣研修は県内で初めてのことで、それぞれの専門分野をお互いに学び合い、得た知識や経験をお互いの施設で報告・実践し合うことで福島県の医療の質向上につながるよう決意を固めました。



医療法人誠励会 中島医院



- 所在地 〒963-7851
石川郡石川町字新町 46-1
TEL. 0247-26-3415
FAX. 0247-26-3416
- 診療時間 【月～金】 8:30～18:00
【土】 8:30～12:30
- 管理者 田畑 裕
- 診療科目 内科・外科・整形外科・小児科
循環器内科・皮膚科・泌尿器科
消化器内科・呼吸器内科
リハビリテーション科

地域医療の実現

柔和な笑顔で迎えてくださった田畑院長は、石川郡医師会会長も務めておられる。インタビュー冒頭は自院の説明ではなく、石川郡5町村の出生数・人口の減少や高齢化に伴う地域力の低下を危惧されているお話であった。地域包括ケアの植木鉢の概念図についても、机上ではない現場の問題解決が必要であると力説された。最も感銘を受けたことは、概念図の底辺に書かれた「本人と家族の選択と心構え」に込められた真の取り組みが忘れられているという点であった。山間部に住む独居老人や経済的な問題で取り残される人など、新しい時代の「在宅生活」に対し、10年先をいく田畑院長の思いに引き込まれる時間だった。



たばた ゆたか
田畑 裕 院長

外来機能の中島医院と、元気いっぱい老人保健施設（29床）

中島医院の外来は、患者さんを迎え入れる穏やかな雰囲気に包まれていた。外来診療部門では、エコーやCTも可能であり地域医療を担うに十分な設備が整えられていた。施設を案内してくださった冨塚事務長からは自施設に対する誇りと自信を感じることができ、医療併設型介護老人施設の入所者は明るく元気いっぱいだった。スタッフの笑顔に負けない女性入所者の皆さんに大変癒された。

イキイキ・わくわく、デイサービスセンターいしかわ

隣接するデイサービスセンターいしかわ（4年前にオープン）は、医療法人誠励会が目指す地域医療の充実を具現化した施設だった。体操や習字等に励むイキイキした男性陣（ほぼ独居の方）、演歌を歌いながら足湯につかる女性陣、そこには高齢社会をわくわく過ごす場と時間があつた。

最後に、田畑院長にご自身の今後の役割についてお尋ねした。「地域包括ケアシステムが、地域の特性に合った形で実現すること。」と述べられ、ご自身は、「様々なその人の背景を理解した上で、その人に寄り添って役目を果たしたい。」と語られた。医師として、医師会長として、そして人として全うしようとする田畑院長の生き方をインタビューから感じることであった貴重な経験だった。（星総合病院広報 佐藤 美重）



ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>
発行／公益財団法人星総合病院
編集／法人広報部
発行日／平成29年11月
住所／〒963-8501
郡山市向河原町159番1号



公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 福島県向河原町159番1号
TEL 024-983-5511
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7
TEL 024-952-6411
- 三春町立三春病院（指定管理）
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六井崎50番地
TEL 0247-62-3131
- ほし横塚クリニック
〒963-8803 福島県郡山市横塚2丁目20番36号
TEL 024-956-7778
- 星訪問看護ステーション
〒963-8803 福島県郡山市横塚2丁目20番36号
（ほし横塚クリニック内）
TEL 024-956-2322

・サテライト星ヶ丘（星ヶ丘病院内）

TEL 024-962-1711

・サテライトしずか

〒963-0209 福島県郡山市御前南5丁目18番地

クレストパークB棟102号

TEL 024-983-6410

・サテライト三春（三春病院内）

TEL 0247-73-8270

●介護老人保健施設オゾン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天2

TEL 024-952-6413

●芳賀・小原田地域包括支援センター

〒963-8822 福島県郡山市昭和2丁目21-3

ダイサンクリニックビル1階

TEL 024-941-1121

●星総合病院在宅介護支援センター

（ほし横塚クリニック内）

TEL 024-983-5515

●居宅介護支援事業所星ヶ丘（星ヶ丘病院内）

TEL 024-962-6414

●養護老人ホーム三春町敬老園（指定管理）

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六井崎50番地の1

TEL 0247-62-3618

●ボラリス保健看護学院

〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号

TEL 024-983-5010

●ほしのご保育園

〒963-8501 福島県向河原町159番1号

TEL 024-983-5519

●星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7-3

TEL 024-951-0788

●三春町第1保育所（指定管理）

〒963-7769 福島県田村郡三春町担機1丁目4番地の1

TEL 0247-62-3839